



MERCEDES-BENZ M-Class 認定中古車レポート

二代目前期を手頃な価格で

二代目前期のML350が人気

メルセデス・ベンツのSUVラインナップで、主力車種と言えばやはりMクラスとなるだろう。新車の販売台数が多いければ、それだけ中古車としても流通量が多くなる。

Mクラスの認定中古車なら、二代目の前期が主役になる。二代目デビューは'05年だから、最も低年式でも5年落ち。そこから'08年のマイナーチェンジまでのモデルに人気が集まっている。言い換えれば、そのあたりの年式のクルマが、車両本体の価値に対して、最も値がこなれているということだ。

二代目Mクラスデビュー当時の新車価格は、ML350で約700万円、ML500なら約1,000万円。マイナーチェンジを挟んでいるとはいえ、基本的には現行モデルなので、中古

車市場でもさほど値落ちしていないのでは？と思いきや、実は程度の良い認定中古車でも400万円台から探せる。

新車時には大きな価格差があったML500とML350も、中古車ではグッと差が縮まる。当然、値落ち幅の大きいML500の方がお得なのだが、中古車を求めるユーザーはランニングコストも含めたトータル出費を重視する傾向にあるようだ。そのため、ML350に人気が集まっているというのが実情だ。

スポーティーな大径ホイールを備えたスポーツパッケージ、上質な本革シート表皮が奢られるラグジュアリーパッケージというパッケージオプションも、Mクラスの定番として、装着率が高い。新車時なら40〜50万円の追加出費になってしまうが、中古車なら装

着の有無での価格差は、ほとんどないようだ。したがって、パッケージオプション付き車は、“あれば買い”の狙い目モデルとなるが、中古車市場には意外と流通量があるというのも嬉しいところだ。

ちなみにML500には、電子制御エアサスやトランスファーローレンジ、センター&リアデフロックなど、オフロード向けの機能を備えたオフロードパッケージが用意されていたが、こちらは中古車市場ではかなりレアな存在となっている。

今回、Mクラス認定中古車のサンプルとして紹介する'05年式のML350は、スポーツパッケージ付きだった。真っ白なボディが、新車並みの輝きを保った極上コンディションの一台だ。



①初代後期のML350は3.7リッターだったが、二代目ML350は名称通りの3.5リッター。272PSを発揮する。②オプションの電動サンルーフを装備。③スポーツパッケージは専用の19インチホイールを採用。④⑤サスペンションは四輪独立懸架。フロントはダブルウィッシュボーン、リアは4リンク式。スプリングはコイルだ。

①中央に液晶モニターを備えた二眼メーター。スポーティーかつ高級な雰囲気。②純正のカーナビを装着。③荷室フロアのカーペットはノーダメージ。酷使した形跡はない。④ブラックで統一されたシックなインテリア。初代に比べて格段に品質は向上しており、部材の質感も高い。⑤スポーツパッケージのシートはセンター部がアルカンターラとなる。シートの状態も非常に良い。

後期モデルはまだ割高か



後期モデルとなる'09モデルのML350スポーツパッケージ。新車保証継承1.1万kmの極上車が648万円。

Gクラスは根強い人気



'06モデルのG500ロング。走行距離3.2万km。価格は698万円。Gクラスもまだまだ根強い人気を誇る。



【メルセデス・ベンツ東名横浜】SHOP INFO
 東京都町田市鶴間1674-1
 TEL / 042-799-5601 (中古車センター)
 営業時間 / 9:30~19:00
 定休日 / 年中無休
<http://www.stern-setagaya.co.jp>

走行距離も34,000kmと少なめで、コンディションシートのアルカンターラ表皮もキレイなまま。ヘッドライトやバンパーの形状が後期とは若干異なるが、正直、よほどMクラスに詳しい人でない限り、「新車を買った」と言っても疑わないだろう。コンディションは、それほど良好なのだ。

Mクラスの場合、二代目はもちろん初代でも、持病のようなトラブルの傾向は聞いたことがない。しかも、認定中古車として流通する車両は、ほとんどがワンオーナー車。正規ディーラーで定期的な点検・整備を行い、それが記録されているという状態だ。アクティブに利用されるSUVだが、高級車ゆえ、丁寧に扱われているというのもMクラスの特長と言えるだろう。



'05年式ML350スポーツパッケージ。走行距離3.4万km。価格438万円。5年落ちの前期モデルだが、どこにも旧さを感じさせる部分はない。ホワイトのボディカラーもツヤツヤ。Mクラスは丁寧に扱われたクルマが多いという。

この車種の認定中古車物件を探す